

令和6年度介護ロボット・ICT導入支援事業計画書(1)

1号(介護ロボット)の場合

担当者名 宮城 花子
担当者連絡先 xxx-xxxx-xxxx
メールアドレス △△△@△△△△.jp

Table with 4 columns: 法人名, 介護サービス事業所名, 介護サービスの種別, 定員数. Row 1: 社会福祉法人〇〇〇〇会, 特別養護老人ホーム〇〇〇〇, 介護老人福祉施設・地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護(介護予防を含む), 29

Table with 3 columns: 事業区分, 購入 リース・レンタルの別(いずれかに○), リース・レンタルの場合の契約(予定)期間(工事を要する場合の契約(予定)期間). Includes detailed notes and annotations for items (1) through (4).

Table with 3 columns: 対象機器名, 事業の着手日(予定), 事業の完了日(予定). Row 1: 見守り〇〇〇〇, 令和6年11月1日, 令和6年12月20日

Table with 2 columns: 事業区分(1)~(3)の具体的な事業内容(機器導入後3年間について), 内容. Includes sub-sections for ①現状の問題点や解決すべき課題, ②達成すべき目標, ③目標達成のために導入すべき機器の内容等, ④期待される効果等.

Table with 2 columns: 事業区分(4)の具体的な事業内容(「上記以外の支援」に丸を付けた場合), 実施内容

Table with 2 columns: 補助要件の達成状況, 状況. Includes rows for ①「SECURITY ACTION」の宣言状況, ②LIFEの利用申請の有無, and a note for '→無の場合: 申請予定時期'.

令和6年度介護ロボット・ICT導入支援事業計画書(1)

3号(パッケージ型)の場合

担当者名 宮城 花子  
 担当者連絡先 ×××-××××-××××  
 メールアドレス △△△@△△△△.jp

法人名	介護サービス事業所名	介護サービスの種別	定員数
社会福祉法人〇〇〇〇会	特別養護老人ホーム〇〇〇〇	介護老人福祉施設・地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護(介護予防を含む)	29

事業区分	購入 リース・レンタルの別(いずれかに○)	リース・レンタルの場合の契約(予定)期間(工事を要する場合の契約(予定)期間)
(1)介護職員の負担軽減に資する介護ロボット等を導入する事業	購入 リース・レンタル	令和 年 月 ~令和 年 月
(2)介護記録、情報共有、請求業務等の業務の効率化を図るICT機器等を介護サービス事業所に導入する事業	購入 リース・レンタル	リース・レンタルの場合や、工事を要する場合は期間も記入
(3)介護ロボット等やICT機器等を複数組み合わせる介護サービス事業所に導入する事業	購入 リース・レンタル 工事	令和 年 月 ~令和 年 月 (令和 年 月 ~令和 年 月 )
(4)導入と一体的に行う業務改善支援を介護サービス事業所で利用する事業	・厚生労働省「デジタル中核人材育成研修」の受講 ・厚生労働省「介護現場の生産性向上ビギナーセミナー」オンライン配信の視聴 ・上記以外	購入の場合は購入契約予定日～代金支払い予定日 リース・レンタルの場合は契約予定期間

対象機器名	事業の着手日(予定)	事業の完了日(予定日)
見守り〇〇〇〇、介護ソフト〇〇〇〇、スマートフォン	令和6年11月1日	令和6年12月27日

事業区分(1)～(3)の具体的な事業内容(機器導入後3年間について)

複数の機器の場合はまとめて記入 ①現状の問題点や解決すべき課題	当施設では紙で記録や申し送りを行っており、手書きのメモを後で清書して記録を作成し、各種書類の作成の際には記録を確認しながら手入力での転記作業を行っている。記録の作成・転記作業のための残業の発生が課題である。また、見守り機器を導入していないため、ナースコールを頻りに押し利用者に職員が付きっきりにならざるを得ず、人手不足の一因となっている。
②達成すべき目標 (1年後、2年後、3年後に達成すべき目標)	スマートフォンで介護記録と見守りを行えるようにし、業務の効率化と職員の離職防止を図る。 【1年後】見守り機器の利用方法普及。若手職員を中心に記録業務の電子化を進める 【2年後】全職員に記録業務の電子化を普及 【3年後】残業時間削減による人材の定着及びケアの質の向上
③目標達成のために導入すべき機器の内容等(目標達成のために活用する機器に必要な機能や特徴)	・離床検知やカメラ映像をスマートフォンで確認できる見守り機器 ・記録から請求業務まで一気通貫で行うことができ、現場でスマートフォンによる記録を行うことができる介護ソフト ・スマートフォン
機器名ではなく、導入すべき機器の仕様などを記入 ④期待される効果等	【職員の心理的・身体的負担軽減】 ○心理的負担…訪室回数の減少や、転記作業がなくなることで、ケアの時間に余裕が生まれる。 ○身体的負担…人手不足の改善や、事務処理にかかる時間が短縮されることで、残業時間が削減できる。 【効率化】 ・記録業務 ○分→○分に短縮 ・請求事務 ○分→○分に短縮 【ケアの質の向上】 ケアの時間が余裕が生まれることで利用者に寄り添ったケアが実現できるとともに、記録業務にも余裕が生まれることで記録する情報の精度が上がり、ケアの質の向上につながる。

事業区分(4)の具体的な事業内容(「上記以外の支援」に丸を付けた場合)

実施内容	
補助要件の達成状況	
①「SECURITY ACTION」の宣言状況	一つ星を宣言している
②LIFEの利用申請の有無	無
→無の場合:申請予定時期	2024年10月